

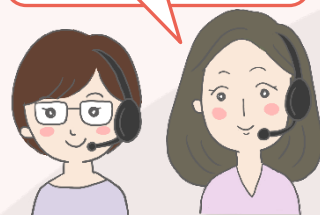


コールセンターでは、お客さまから
「金利が上がる局面なのに、どうしてこのバランスファンドは
日本国債を組み入れているの？」
といったご質問をいただくことがあります。

金利上昇は債券価格の下落要因となるため、利上げが続き
そうな環境だと敢えて債券を保有する意義は見出しづらい
かもしれません。

そこで今回は、資産形成をしていく中での「**債券の捉え
方と活かし方**」についてご説明します。

「金利が付くのは嬉しい
けど、利上げによって国
債価格が下がるのは不
安」といったお話をいた
だくことがあります。



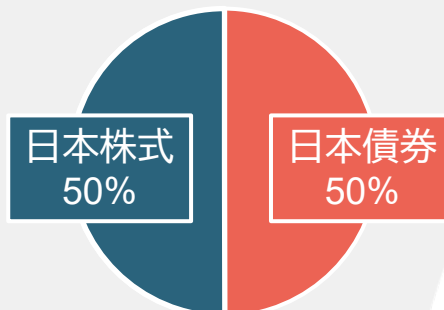
分散投資の観点から考えたい債券

資産形成において、資産を大きく成長させてくれる存在である株式を集中的に保有している方は多いかもしれません。しかし、時に激しく変動する市場に不安を感じる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。そんな時、心強い味方となってくれるのが債券です。

多くの方の債券に対するイメージは、「安全資産」や「定期的な利息収入」といったものではないのでしょうか。ただ、こうした債券固有の魅力だけでなく、ポートフォリオにおける分散投資の重要なパーツとして捉えると、バランスファンドなどで債券が恒常的に組み入れられる理由が分かってきます。



大きな投資成果が期待できる一方、
株式市場の下落局面への不安が残る。

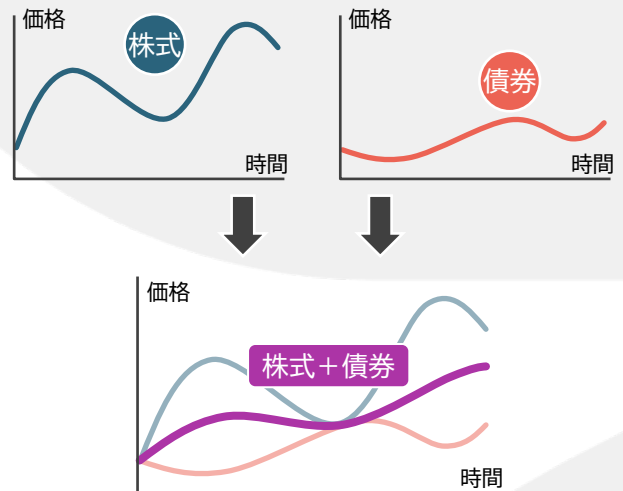


株式市場の不安定な局面では、
日本債券が心理的な安心材料になるかも。

いざという時の「お守り」としての期待

株式と債券の価格は、しばしば「逆の方向に動く」と言われます。これは、株式市場が好調な時期には債券が値崩れしやすい一方、株式市場が下落する局面では債券価格が上昇しやすいことからきています。この関係から株式と債券には、それぞれの「お守り」のような役割が期待できます。

また、こうした値動きの異なる資産を組み合わせることは、分散投資の基本であり、ポートフォリオ全体としてはリスクに対するリターンの向上を期待することができます。



異なる値動きをする資産を組み合わせれば、全体の値動きはマイルドになると期待できます。

※上記は一般論であり、実際と異なる場合があります。

金利上昇局面の日本国債の状況は？

債券を保有することがポートフォリオ全体のリスク・リターンの改善に役立つことはご理解いただけたかと思いますが、債券単体で考えた場合はどうでしょう。最近では、日本銀行が長引く金融緩和からの正常化を進めており、日本国債の金利水準は上昇傾向にあります。そのため、日本国債に投資するファンドに対してはネガティブな見方をする方も多いかもしれませんが、良い面と悪い面の両方を押さえておくことが大切です。

10年日本国債利回りと日本国債インデックスの推移

(期間: 2000年1月末～2025年9月末)



金利が横ばい／低下局面ではパフォーマンスは安定する一方、金利上昇局面ではパフォーマンスは悪化していました。

●10年日本国債利回り: ジェネリック10年国債の利回り、日本国債インデックス: FTSE日本国債インデックス(円ベース、グラフ起点を100として指数化)

※左記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。※信頼できると判断した情報をもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

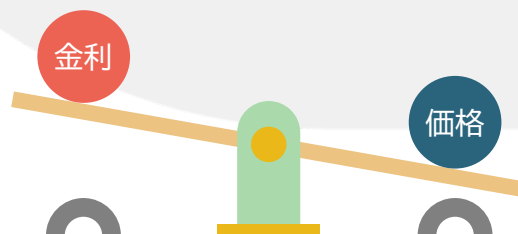


金利上昇局面における債券投資の側面

①債券価格の下落

ここで、金利上昇が債券ファンドに与える二つの影響を確認しておきましょう。

第一は、債券価格の下落です。金利と債券価格の間には、一方が上がると他方が下がるというシーソーのような関係性があります。また、金利上昇の影響は、償還までの期間が長い債券ほど大きくなる傾向があるため、長期の債券に投資をする場合には値動きが大きくなりやすい点には注意が必要です。



※上記はイメージです。

②将来の利息収入増

第二の側面として、より高い金利水準で投資できるようになる点が挙げられます。市場の金利水準が上昇しているので、新たに発行される債券は、過去に発行されたものに比べて高い金利が設定されています。これにより、保有する債券ファンドにおいてより高い利息収入を期待できるようになります。高いリターンをめざすなら、それに伴うリスクも存在することを理解し、リターンとリスクのバランスを考慮することが重要です。

環境が変わったからこそ、債券を賢く活用

安全資産とも言われる債券への興味が湧きづらいという方も多いと思いますが、ポートフォリオへの債券の組み入れは、時に精神的な安定をもたらすかもしれません。株式市場が暴落したとしても、資産の一部が安定していることで、焦って株式を売却するような感情的な判断を防ぎ、バランスファンドでは基準価額の安定化に作用すると期待できます。

また、日本でも金利のある世界が再び訪れ、債券投資によって期待されるリターンは高まっています。市場金利の高まりにより利息収入が自ずと増えていくだけでなく、将来の金利低下局面での値上がり益を期待した投資機会が増えるかもしれません。

資産形成は長期戦です。債券を上手く活用することで、ポートフォリオのリスクをコントロールし、より安心して資産を育てていくことを考えてみてはいかがでしょうか。



債券の特徴を理解すれば、局面に応じて資産の組み換えを行なえるようになり、投資の幅を広げることに繋がるかもしれません。



コールセンター
0120-25-1404
営業時間 平日 9:00-17:00

